



帆柱岩



リンドバーグ飛来記念写真パネル



岩見重太郎誕生之地(お観音様ひろば)



名島神社(名島城趾)



名島水上飛行場跡の碑



妙見島(写真パネル)



名島橋



名島城跡



不断梅
(名島城趾公園)



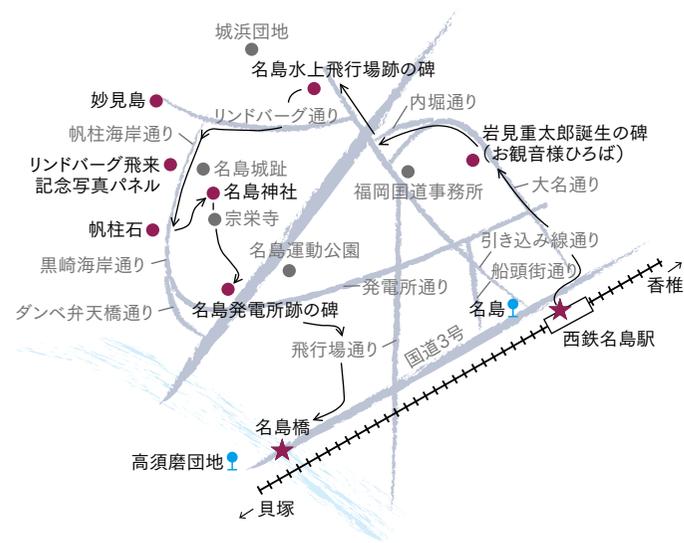
当時の名島火力発電所
(写真パネル)



西鉄貝塚線・名島駅



名島橋たもとの案内パネル



驚きと感動

東区(名島界限)

巻頭マップ⑦

栄華を誇った城下町

その昔、名島城の沖合いにあった「妙見島」で豊臣秀吉が優雅な茶会を開いたことをご存知ですか？空の英雄リンドバーグが世界一周の途中で立ち寄った「名島水上飛行場」があったことをご存知ですか？今回は福岡市観光案内ボランティアの平野隆之さんの御案内で、驚きと感動に満ちた歴史の街・名島へ出かけました。

西鉄貝塚線・名島駅前を出発し、名島城の重臣達の屋敷があった「大名通り」を通り「お観音様ひろば」に到着。ここには狒々退治の講談で有名な「岩見重太郎誕生之碑」や天台宗神宮寺の沿革を記した「龕塔碑」が建立されています。その後、昭和六年、リンドバーグ夫妻が飛来した「名島水上飛行場跡の碑」、帆柱海岸通りの「リンドバーグ飛来記念写真パネル」と「妙見島写真パネル」、巨大な桂化木の「名島の帆柱石」を巡り、筑前国主・小早川隆景公の居城「名島城・名島神社」等を参拝しました。小休憩の後、建設当時(大正九年)、東洋一の規模を誇った「名島火力発電所跡の碑」を経て、ゴールの「名島橋」に到着です。名島橋は当初、総ヒノキ造りの木橋でしたが、昭和八年、巨大な鉄筋コンクリート製の白く優雅なアーチ橋に架け替えられ、還暦を過ぎた今でも膨大な交通量を支えています。万歩計を見ると六五〇歩を示しており、二時間余りの「宝物探し」を満喫しました。

次に散策中に見つけた穴場を紹介します。

「リンドバーグ写真記念パネル」には愛機ジュリアス号上の夫妻や「翼よ、あれが博多の灯だ!」のコメントも。また双フロート式水上飛行機(当時、福岡〜大阪を一日一往復)の前で記念写真を撮る市民の写真(昭和四年)も展示されています。

一方、名島が誇る「帆柱石」は、第三紀層のカシ属の木の幹の化石で、円柱状の九つの石柱が連続しています。大変珍しいもので国の天然記念物に指定されています。この柱には神功皇后の伝説も残されています。

最後に、桜やつつじの名所として有名な「名島城趾公園」では、隆景公入府四百年を記念して植樹された「不断梅」が満開に咲き誇っていました。名島城の石垣や櫓は黒田長政が福岡城築城の際に利用し、名島門も城内に移築保存され、当時を偲ばせてくれます。

- アクセス
 - 西鉄貝塚線「名島」駅
(地下鉄貝塚駅乗換)
 - 西鉄バス「名島」
「高須磨団地」
- コース散策:約2時間



ボランティアガイドの
平野隆之さん